



2009 年度春期 神戸大学都市安全研究センター・JICA 兵庫国際センター集団研修
「都市地震災害の軽減のための総合戦略」コース

「カンントリーレポート発表会」開催のご案内

標記 JICA 集団研修は、発展途上国の大都市での地震災害を軽減することを目的に、毎年世界各国より都市防災に関係する研修員を約 2 ヶ月招聘し、神戸大学都市安全研究センターと JICA 兵庫国際センターが共同で集団研修を実施するものです。

開発途上国では都市への人口集中と肥大化が急速に進んでいますが、都市社会での防災インフラの整備は非常に遅れており、地震発生のために非常に多くの犠牲者を生んでいます。本研修では、阪神・淡路大震災等の我が国での地震災害の教訓を生かし、都市社会での地震災害といった複雑で困難な災害の軽減に向けて、それに必要な社会科学・理学・工学・医学等の幅広い知識を研修生の方々に伝授し、我が国の地震防災技術を活用した国際協力・貢献を行おうとするものです。

本研修は今年度で 6 年目となります。今年度は下記の 8 カ国から 8 名の参加者を得て、各国の自然環境・地震・都市防災についての現状を説明していただく、カンントリーレポート発表会を開催します。世界の人々の「安全と幸せ」の向上への国際協力活動にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちします。発表・質疑は英語で実施します。

= スケジュール =

時：5月21日(木)

場所：JICA 兵庫国際センター

10:00 - 12:00 カントリーレポート発表会 (4名)

Algeria: Wafa KOUICI

Researcher, National Center for Applied Research in Earthquake Engineering

Bangladesh: MD Sohel RAHMAN

Sub-Divisional Engineer, Design Division-5, Public Works Department

China: Yingfeng JI

Vice Section Chief, DRR Project Office, Earthquake Bureau of Fujian Province

Peru: Luis Martin LAVADO DURAND

Research Assistant, Laboratory of Structures, Japan Peru Center for Earthquake Engineering and Disaster Mitigation

昼食

14:00 - 15:00 都市地震災害軽減のための総合戦略コース：イントロダクション

Professor Yasuo TANAKA, Kobe University



時：5月22日(金)

場所：JICA 兵庫国際センター

10:30-12:30 カントリーレポート発表会（4名）

Syria: Mohamad Abdulkader AL SHIKH

Chief Assistant and Head of Training Circle, Training Circle, Aleppo Fire and Rescue Department

Venezuela: Carlos Enrique GARCIA RANGEL

Department Chief, Operations Department, Cuerpo de Bomberos Voluntarios Universitarios de la Universidad Central de Venezuela

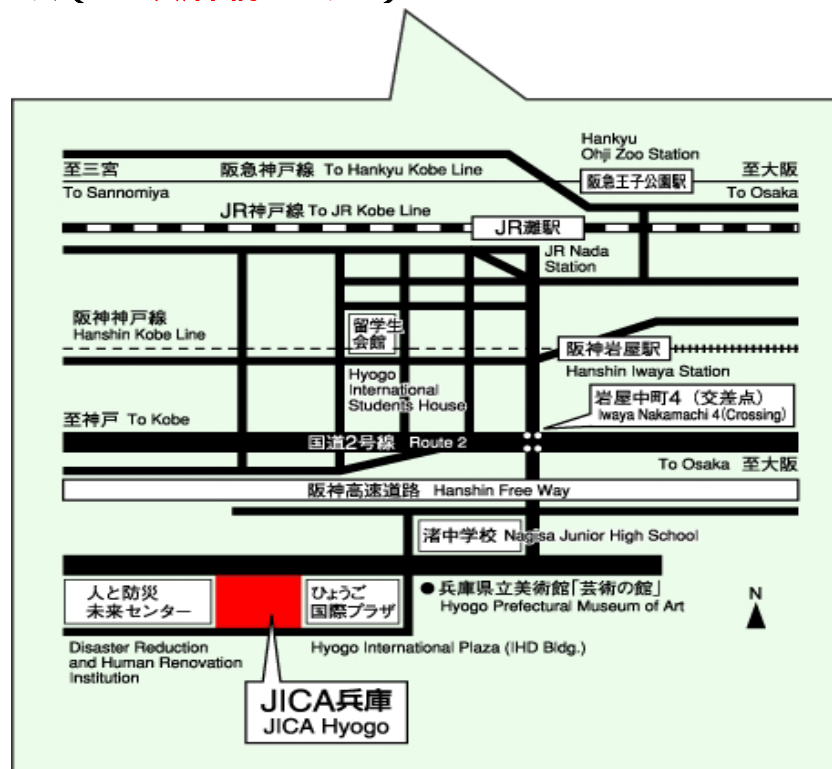
Turkey: Ali Tolga ÖZDEN

Research Assistant, Faculty of Architecture / Department of Architecture, Middle East Technical University

Kazakhstan: Aidyn Serykovich MUKAMBAYEV

Engineer, Kazakhstan National Data Center, Institute of Geophysical Researches under the National Nuclear Center

会場へのアクセス（JICA 兵庫国際センター）



お問い合わせ先：神戸大学都市安全研究センター 連携融合事業推進室

担当：岡崎(078-803-6010)、岩崎(078-803-6058)